

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会高齢者ケアセンターこぶし園	代表者	吉井靖子	法人・事業所の特徴	築き上げてきた暮らしを支える。ご利用者の生活・介護（くらし）を支えることを念頭に置き、日常生活の支援を行っています。中重度方でも安心してご自宅での生活が継続できるよう訪問を中心とし通い・宿泊の利用調整を行い援助しております。今まで暮らしてきた生活のスタイルを崩さず要介護状態となってもご自宅で暮らせるように、ご利用者一人一人に寄り添った柔軟な支援をしています。また複合型施設の特徴を生かし、他事業所とのご利用者の交流や地域の方の協力のもとさまざまなアクティビティを取り入れ活動を行っています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護千秋	管理者	大矢泰三		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	4人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価を行う前に再度、評価内容質問に対して職員間で評価方法について学習の機会を持ち、各項目について職員の理解を深めるとともに、改善計画に対する取組みや問題点を明らかにし具体的な改善計画がたてられるようにする。	事業所内ミーティングの中で学習機会を設けるとともに、管理者が個別に相談を受けながら行うなど前年度よりも「サービス評価」に対し理解を深めることができたように思われる。	引き続き「できている・できていない」という評価に留まらず事業所と地域との相互理解・連携に向けた取組みをお願いしたい。	項目によっては解釈にばらつきがあり、評価に苦慮した所もあった。次年度以降も実施ガイドのポイントを参考に理解を深め、具体的な改善計画を可能なものは年間計画として盛り込んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	センター施錠時間を入口に解り易く掲示。防犯等の目的のため施錠は継続して行うが、24時間いつでもインターホンで対応し面会等はいつでも対応している。サポートセンター千秋での行事について近隣町内（町内会を通じて）回覧板等を利用して頂きながらお知らせしていく。	施錠時間やインターホンについて記された看板を事務室勤務の職員が退社する際には、より目立つ場所に置くようにし、施錠後場所される方には事前にご案内もしている。また、千秋でのイベント案内については町内回覧を活用させていただいた。	玄関入ってすぐの事務室に人が常駐していないと何となく入りにくい。ずっと事務所にいることができないのもわかるが、入ってすぐに声をかけてもらえると安心する。清潔感があり玄関のお花からも四季が感じられる。	事務職員がいなくなったことで常駐できない現状があることを再度ご説明するとともに、事務室が不在であったとしても基本的な窓口対応を他の職員も行えるよう努める。また、不在の場合でも職員が携帯するPHSに繋がる電話機が事務室前のカウンターに置かれているが、わかりにくく機能していない現状がある為、活用いただけるよう目立つような工夫を凝らす。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>年度初めなどの節目には、関わっている地域の町内会長さん（古正寺地域を中心とし）に依頼し地域の年間行事計画を教えてください。小規模の活動の中に参加が可能な地域行事への参加を盛り込み計画を立てる。</p>	<p>年度初めに年間計画を教えてください。町内会の子供神輿や敬老会、クリーン作戦、防災訓練などに参加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の中には挨拶が不愛想な方もいるようである。 ・防災訓練への参加はとても有意義なものだと思う。 	<p>ご利用者やご家族、地域の皆様に対して例外なく全職員が気持ちの良い挨拶を交わすことができ、職員も同じ地域住民の一人として関わりを密にしていけるよう、接遇に関する研修を年間計画の中に位置付けていく。 町内会行事への参加も継続しながら、災害時には助け合えるように備蓄品や設備面の情報共有も図っていく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>関わっているご利用者近隣にも意識を向け支援する。地域の関わりについて「年間研修計画」に予定を入れ学習の機会を設ける。相談を受けた際に関連機関へすぐにつなげられるように体制を整えたとともに、関連機関連絡網を作成し持参する。</p>	<p>関連機関の連絡網については訪問時に携帯するバッグに入れ、万一の時にはその場で迅速な対応が行えるようにした。 一方で利用者以外の心配な方への支援については直接何か支援をしたことはなく、またそのような方の把握に至っていない。</p>	<p>地域包括や警察と実際に連携しているところは良いと思う。 心配な方への支援というのがイメージしにくい。</p>	<p>地域で生活をされている利用者以外の方への支援について地域包括支援センターや警察、民生委員等と連携しながら運営推進会議等を通じて情報に努め、どのような関わりが必要なのか検討していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>取り組んでいること・事故報告（ヒヤリハット報告）・対策を運営推進会議で報告しご意見を頂くとともにアドバイスを頂く。運営推進会議に参加されている代表者からも地域の取り組みなど確認検討する時間を設ける。</p>	<p>事故報告やその対策については運営推進会議で報告を行っているが、個別にケース検討を行うことや地域で心配な方の事例を挙げるということはない。</p>	<p>地域で心配な方の情報が得られやすい地域包括支援センターや民生委員の方々が出席する運営推進会議の中で、そのような方の事例検討を行うのも大切な取り組みである。</p>	<p>運営推進会議の中で集められた情報をもとに必要な支援の有無やその内容について協議し、事業所としてだけではなく地域に向けた取り組みをしていく。 また、利用者以外の方の事例を検討する際の個人情報の取扱いについても協議していきたい。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>今後も運営推進会議を利用し防災訓練に参加して頂き緊急時の対応を知って頂く。同時に防災委員を中心に地域の方も訓練に参加できる体制を作る。センターの防災計画・備蓄品・消防設備など参加された方に書面で配布し避難場所になりうる施設であることを知って頂く。火災以外の水害や地震の訓練も計画する。</p>	<p>今年度も運営推進会議を通じてセンターの防災訓練には推進委員である住民代表者には参加いただいたが、その他の地域住民の方には呼び掛けが行えていない。また、運営推進会議の中で防災計画を提示までしておらず、委員の皆様にも事業所の防災対策についての情報提供が不十分であった。今年度は去年の反省から雪害対策についての勉強会をセンター</p>	<p>地域の中にはこのセンターのことがわからない人もいます。いざという時に頼れる場所なのだと思ってもらえるといい。</p>	<p>事業所内で組織する防災委員会を中心に回覧等を使用して地域住民の皆様へ防災訓練への参加を呼び掛け、設備や備蓄品などお伝えしながらいざという時に円滑に連携がとれるよう情報提供していくとともに、寺島町内会及び古正寺町内会に自主防災組織の有無を確認しながら、そのような方々からセンターに足を運んでいただけるような仕組み作</p>

		全体で実施。		<p>り（防災に重点を置いた見学会の開催など）を検討していく。</p> <p>次年度の評価ファイルにはサポートセンター千秋の防災関係のマニュアルを綴り、委員の皆様に表示できるよう準備する。</p> <p>また、今後も地域の防災訓練に参加をさせていただき、地域が抱えている課題を把握しながら、緊急避難場所としても機能が果たせるよう準備を進める。</p> <p>地域との連携強化に向け、時間も必要と思われるが、年次的に実現を目指して計画・実施していく。</p>
--	--	--------	--	--